

プログラム名 (40字以内)	インドを深く学ぶ旅―日印学生交流を中心として		
団体名/所属	大学院人文社会系研究科		
活動区分	国際交流体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	8人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	特になし(ただし、当該年度9月卒業者は参加できない)		
活動期間	2026/9/20(日)～9/29(火)	主な活動予定場所	インド
プログラム実施の目的	・インド国内の大学を訪問し、インドの学生たちと交流する。・メディアなどの情報からは得られない、今のインドの本当の姿(目覚ましい経済発展の様子、貧困の現状、格差問題など)を深く知る。・世界で活躍する卒業生の経験に学ぶ。・専門家の解説付きでヒンドゥー教の聖地や仏跡を巡り、見聞を広める。		
具体的な内容(800字程度)	<p>昨今、インドは世界のあらゆる分野でそのプレゼンスを増しており、今後の世界情勢などに鑑みても、インドは日本にとって最重要パートナーとなっていく可能性が高い。しかし現状では、日印の相互理解またその基礎となる人的交流が十分であるとは言えない。</p> <p>今回の体験活動プログラムでは、東京大学の学生が協定先大学やインド各地を訪問することで、日印学生交流を盛り上げようというものである。</p> <p>プログラム参加者は、月1回程度の事前学習と準備を行い、9月20日～9月29日(予定)にかけてはインドに滞在し、デリーにあるデリー大学(DU)、コルカタにあるプレジデンシー大学、ヴァラナシにあるバーナールス・ヒンドゥー大学(BHU)などに訪問して学生交流会に参加する。事前準備においては、より多くのインド人学生に日本の魅力を伝える方法などについて討議し、各自プレゼンテーションを準備する。準備したプレゼンテーションを交流会にて発表してもらう予定である。参加者は事前の準備を通じて日印両国のことを深く学び、英語でプレゼンを行うという貴重な機会を経験することができる。</p> <p>経済発展著しいインドであるが、全土を見渡してみれば発展から取り残された地域も多く存在する。このプログラムでは、インドで最も貧しい州といわれるハール州の農村地帯にあるスジャータ村を訪問し、現地で学校建設や初等教育普及、女性の自立支援などをおこなうNPOの活動を見学する。</p> <p>また、デリーでは、日本大使館、JICAなどの国際機関などを訪問し、国際的な舞台で活躍する卒業生などからレクチャーを受ける予定である。</p> <p>その他、本プログラムはインドや仏教を専門とする教員が帯同し、デリー近郊の歴史文化遺産および博物館訪問、ヴァラナシではガンジス河見学、プダガヤでは仏跡見学など、インドを多角的に、深く学ぶことになる。</p> <p>学生たちには、この機会にアクチュアルなインドを実際に肌で感じてもらいたいと考えている。インドの学生や現地の人々との交流を通じて、実体験から様々な学びが得られることを期待する。</p> <p>以下は現時点での日程(案)</p> <p>9月20日(日)集合 9月21日(月)在印日本大使館、デリー大学などの訪問 9月22日(火)デリーからコルカタへ移動 プレジデンシー大学訪問 9月23日(水)コルカタからガヤーへ移動 大菩提寺見学 9月24日(木)スジャータ村見学 9月25日(金)ガヤーからヴァラナシへ移動 9月26日(土)BHU訪問 サールナト見学 9月27日(日)ヴァラナシからデリーへ移動 デリー観光 9月28日(月)JICA訪問 終了式 9月29日(火)解散</p> <p>過去のプログラムについては、以下で概容を見ることができる。 2023年度: https://www.facebook.com/photo.php?fbid=82602915255522&set=pb.100054444341678--2207520000&type=3 2024年度: https://www.instagram.com/p/DCP8XrCT5xZ/?igsh=MXEWmZJzbWl1bjk2Nw== 2025年度: https://www.instagram.com/p/DQqCSbUD40-/?utm_source=ig_web_copy_link&igsh=MzRiODBiNWFiZA==</p> <p>なお、参加者選考にあたっては、以下の点を重視する。この点を含めて申請書を作成すること。 ・インドへの渡航は初めてである。 ・帰国後も学生交流活動などに積極的に参加したい。 (参考URL: https://ssp.jst.go.jp/report/2024/k_vol031.html) ・インドで行ってみたいところ、やってみたいことがある。</p>		
【総額】参加するための費用	132,000円+100,000円～150,000円(デリーまでの往復航空券)		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	40,000円(食費込み)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	50,000円(国内移動)+100,000円～150,000円(デリーまでの往復航空券)		
【内訳】参加するための費用(その他)	見学料10,000円 参加費30000円(現地協力者、専門家への謝礼等) ヴィザ申請費用2000円程度		
奨励金額(予定)	80,000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		